

# ながよ支えあい通信

令和4年8月発行 NO.5



地 域 活 動 紹 介

## 編み物同好会

場所： 青葉台公民館

日時： 第1・3金13時～15時

内容： 編み物

## 《編み物同好会》

「青葉台生き生きサロン」の活動の中で編み物をしたところ、時間が足りなくなり、好きな数名より、「編み物教室が別にできると良いね!」と話したことがきっかけで、「編み物同好会」が結成されました。

この集まりは、令和2年3月から月2回の毎回2時間、指導者格の方に仲間に入ってもらい、約7～8名で活動しています。

最初は、余りものの毛糸を持ち寄り、毛糸のタワシなどから始めました。古いセーターをほどいてベストに編みかえたり、配色等の組み合わせを楽しんだりしているうちに、今では、服飾やクッション、帽子などの作品が沢山できました。たわいもないお喋りをしながら手を動かす。皆さんにとって楽しい新たな居場所ができました。



毛糸のタワシ等



たくさんある作品の一部

## 《青葉台生き生きサロン》

「みんなで楽しめる活動」としてサロン立上げから19年。軽運動、講話、茶話会等交えながら介護予防をしています。第3水曜日 10～12時、青葉台公民館にて活動しています。



ウラに続く

長与町では、住み慣れた地域で安心して暮らすための取り組みを進めています。地域の支え合い、生活支援の仕組みづくりを行うため『支えあい「ながよ」推進協議体』が発足しています。

## 支えあいって何？



### シリーズ① 身近な支え合いをまず知ろう！

自宅で安心して住み続けていくために必要なものってなんだろう？

家族、金銭面、健康であることなど様々あるかと思います。

自分の住む周りの環境に目を向けたことがありますか？

核家族が増え、昔ながらのご近所づきあいの希薄化。

高齢者独居の増加。空き家問題。様々見えてきます。

皆さんの住む地域ではいかがでしょうか？

赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らせる地域に

していくために、ご近所同士の助け合いを「支え合い活動」として国が推奨しています。

ご近所同士のお互いさまの関係がある地域では、自然と見守りがあり、困った時は助け合っているため、安心して住み続けられています。



長与町内の公園に遊びに来た小学生が公園近くの深い側溝に家の鍵を落としてしまいました。知人のおじいちゃん達も駆け寄り、あの手この手で試みましたが、鍵はとれません。役場に連絡し、ジャッキ等で側溝の2重鉄網をあげようとしたのですがあがりません。翌日、業者を呼ぶしかないと決めた時、仕事から帰宅した近所の方が来られ「どうしたの？」と声をかけてきました。事情を説明すると、その場で手作りのひっかけ棒を作って、何度も試み、やっと鍵をとることに成功！鍵がとれた瞬間、その場で固唾をのんで見守っていた皆の歓声と拍手が響きわたりました。



住民同士で芽生えた小さな助け合いも一つの支えあい活動です。

毎日の挨拶も見守りの一つです。ゴミ捨てに困っている方を何気なく助けたり、身近にできる支え合い活動があります。今日から自分にできる支え合い活動に目を向けてみませんか？

## 地域のお宝情報募集！

まだまだ、長与町内には、様々な居場所が沢山あるのではないかと考えています。居場所作り、ボランティア等の相談・支援、支えあい講話を無料実施しておりますので、ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

皆様と一緒に支え合い活動を推進します！

生活支援コーディネーター

小林 由起（長与町地域包括支援センター）  
山口 沙起（長与町社会福祉協議会）